

# BEST AVAILABLE COPY

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-076473

(43)Date of publication of application : 23.03.2001

(51)Int.Cl.

G11B 27/10  
 G11B 20/10  
 G11B 27/00  
 H04N 5/76  
 H04N 5/78  
 H04N 5/765  
 H04N 5/781  
 H04N 5/937  
 H04N 7/24

(21)Application number : 11-252962

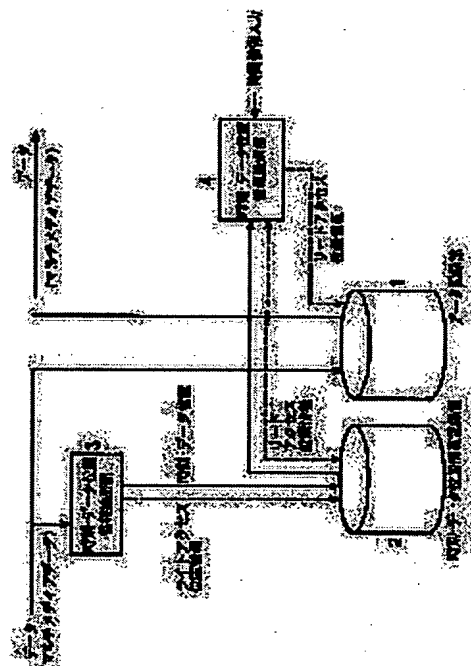
(71)Applicant : FUJITSU LTD

(22)Date of filing : 07.09.1999

(72)Inventor : WATANABE HIDEAKI  
TOGO TSUTOMU**(54) RECORDING AND REPRODUCING DEVICE****(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To reproduce data from a specified position even during recording with respect to a recording and reproducing device enabled to record and also reproduce multi-media data.

**SOLUTION:** This recording and reproducing device is provided with a 1st recording means such as a data recording part 1 for recording multi-media data, an extracting means such as a time and data position information extracting part 3 for extracting time and data position information presenting the relation between the time information on the multi-media data and the recorded position, a 2nd recording means such as a time and data position information recording part 2 for recording the time and data position information extracted from the extracting means, a retrieval means such as time and data position information retrieving part 4 for retrieving the 2nd recording means based on the inputted reproduction requesting time information or the like and obtaining the recorded position information, and a reproduction means for reproducing data from this retrieval means.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-76473

(P2001-76473A)

(43) 公開日 平成13年3月23日 (2001.3.23)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 1 1 B 27/10	3 0 1	G 1 1 B 27/10	5 C 0 5 2
20/10		20/10	3 0 1 Z 5 C 0 5 3
27/00		27/00	5 C 0 5 9
H 0 4 N 5/76	5 1 0	H 0 4 N 5/76	B 5 D 0 4 4
5/78		5/78	5 1 0 A 5 D 0 7 7

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 18 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平11-252962

(22) 出願日 平成11年9月7日 (1999.9.7)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(72) 発明者 渡辺 英明

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(72) 発明者 藤後 努

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 100105337

弁理士 眞鍋 潔 (外3名)

最終頁に続く

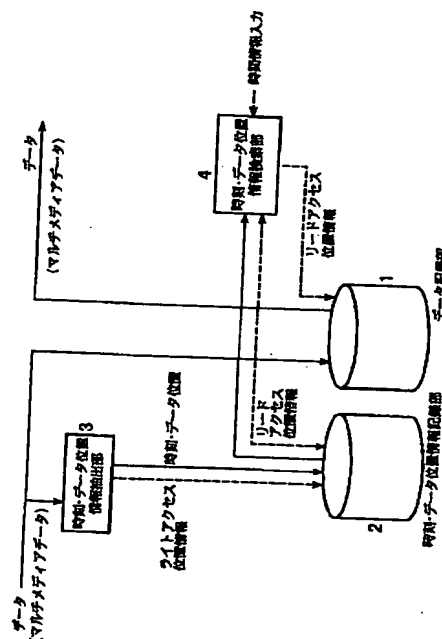
(54) 【発明の名称】 記録再生装置

(57) 【要約】

【課題】 マルチメディアデータを記録し、且つ再生を可能とした記録再生装置に関し、記録中に於いても指定した位置からデータを再生可能とする。

【解決手段】 マルチメディアデータを記録するデータ記録部1等の第1の記録手段と、マルチメディアデータの時刻情報と記録位置との関連を示す時刻・データ位置情報を抽出する時刻・データ位置情報抽出部3等の抽出手段と、この抽出手段により抽出された時刻・データ位置情報を記録する時刻・データ位置情報記録部2等の第2の記録手段と、入力された再生要求時間情報等を基に第2の記録手段を検索して、記録位置情報を求める時刻・データ位置情報検索部4等の検索手段と、この検索手段により求めた記録位置からデータを再生する再生手段とを備えている。

本発明の第1の実施の形態の要部説明図



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力されたマルチメディアデータを記録する第1の記録手段と、

前記マルチメディアデータの時刻情報と前記第1の記録手段の記録位置との関係を示す時刻・データ位置情報を抽出する抽出手段と、

該抽出手段により抽出した前記時刻・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、

指定された再生開始時刻情報を基に前記第2の記録手段に記録された時刻・データ位置情報を検索して前記第1の記録手段に於ける記録位置を求める検索手段と、

該検索手段により得られたデータの記録位置を基に前記第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項2】 入力された複数のプログラムのマルチメディアデータを多重化したデータを記録する第1の記録手段と、

前記複数のプログラム対応に前記データの時刻情報と前記第1の記録手段の記録位置との関係を示す時刻・データ位置情報を抽出する抽出手段と、

該抽出手段により抽出した前記時刻・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、

指定されたプログラムと再生時刻情報とを基に前記第2の記録手段に記録された時刻・データ位置情報を検索して前記第1の記録手段に於ける記録位置を求める検索手段と、

該抽出手段により得られたデータの記録位置を基に前記第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項3】 入力されたマルチメディアデータを記録する第1の記録手段と、

前記マルチメディアデータの属性情報と前記第1の記録手段の記録位置との関係を示す属性・データ位置情報を抽出する抽出手段と、

該抽出手段により抽出した前記属性・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、

指定された属性を基に前記第2の記録手段を検索して、前記第1の記録手段に於ける記録位置を求める検索手段と、

該検索手段により得られたデータの記録位置を基に前記第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項4】 入力されたマルチメディアデータを記録する第1の記録手段と、

前記マルチメディアデータの属性情報と前記第1の記録手段の記録位置との関係を示す属性・データ位置情報を抽出する抽出手段と、

該抽出手段により抽出した前記属性・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、

指定された属性を基に前記第2の記録手段を検索して、

前記第1の記録手段に於ける記録位置を求めて出力する検索出力手段と、

該検索出力手段からの記録位置を基にデータの記録位置を指定して前記第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項5】 入力されたマルチメディアデータを記録する第1の記録手段と、

前記マルチメディアデータの時刻情報を基に時刻情報不連続点と前記第1の記録手段の記録位置との関係を示す時刻情報不連続点・データ位置情報を抽出する抽出手段と、

該抽出手段により抽出した前記時刻情報不連続点・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、

指定された時刻情報不連続点を基に前記第2の記録手段を検索して、前記第1の記録手段に於ける記録位置を求める検索手段と、

該検索手段により得られたデータの記録位置を基に前記第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えたことを特徴とする記録再生装置。

【請求項6】 前記抽出手段と前記第2の記録手段との間に設けたバッファメモリと、該バッファメモリの占有量を監視し、該占有量が所定値を超えた時に前記第2の記録手段に対するライトアクセス制御を優先させる制御を行うデータ位置情報記録制御部とを備えたことを特徴とする請求項1乃至5の何れか1項記載の記録再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ランダムアクセス可能な記録媒体を利用して、ビデオデータ等のマルチメディアデータの記録と、任意の記録位置からの再生とを同時的に行うことができる記録再生装置に関する。

【0002】

【従来の技術】オーディオデータ、ビデオデータ等のマルチメディアデータの記録、再生を行う記録媒体としては、磁気テープが一般的であった。この磁気テープを記録媒体とした記録再生装置に於いては、シリアルアクセスによってマルチメディアデータの記録、再生を行うものであるから、通常は記録操作の終了後に、再生操作を行うことになる。即ち、記録中に任意の過去の記録内容を再生することは不可能であった。

【0003】又オーディオデータやビデオデータの圧縮処理技術と、磁気ディスク、光磁気ディスク、半導体記憶装置等の記録媒体の大容量化技術との進歩により、このような記録媒体を用いたマルチメディアデータの記録、再生が可能となった。そして、このような記録媒体は、ランダムアクセスが可能であるから、任意の記録位置からデータの再生を開始することが可能である。

【0004】オーディオデータとビデオデータとを含む一般的なAVデータは、例えば、図13の(A)に示す

ように、所定長のデータをフレームとして、多重化する方式が採用されている。又圧縮処理技術として標準化されているMPEG (Moving Picture Experts Group) 2のプログラムストリームデータは、例えば、図13の(B)に示すように、ビデオデータとオーディオデータとをそれぞれPES (Packetized Elementary Stream) パケットにより多重化し、複数のPESパケットを1パックとし、各パックの先頭にパックヘッダを付加する。又各PESパケットの先頭に、再生時刻情報等を含むPESヘッダを付加する。又PESパケットは、TSヘッダが付加された複数のTSパケット(188バイト)に分割される。又この分割によるスタッフィングデータを付加するアダプテーションフィールドは、スタッフィング以外の目的にも使用する為、総てのTSヘッダの直後に形成される可能性もある。

【0005】又図14の(A)は、MPEG2のプログラムストリームデータに、ディレクトリPESパケットを多重化した場合の一例を示し、このディレクトリPESパケットは、ランダムアクセスを可能とする為のディレクトリ情報を含むものであり、例えば、ランダムアクセス可能なデータ位置を、そのディレクトリPESパケットからの前後の相対バイト数により表現することができる。

【0006】又図14の(B)はMPEG2のトランスポートストリームデータの一例を示し、188バイトの固定長のデータに、オーディオデータやビデオデータ等の属性を示すパケット識別子PIDを含むTS (Transport Stream) ヘッダを付加してTSパケットとする。又プログラムアソシエーションテーブル(PAT)は、プログラムMi~Mjのマップデータが格納されたPIDのリストを示し、プログラムマップテーブル(PMT)は、プログラムMi~Mj対応にストリームが格納されたPIDリストVim...Vin, Aim...Ain, ...Vj1...Vjn, Aj1...Ajn (mは0以上、m≤n)を示す。即ち、複数のプログラムのマルチメディアデータを多重化して伝送し、TSヘッダのPIDにより属性を示すことができるから、受信側では所望のプログラムのデータを選択して抽出することができる。

【0007】前述のように、ランダムアクセス可能な記録媒体を用いた従来例の記録再生装置を、図15、図16、図17に示す。図15に於いては、データ記録部101と、入力バッファメモリ102と、データ記録制御部103と、出力バッファメモリ104と、時刻・データ位置情報分離部105と、時刻・データ位置テーブルメモリ106と、時刻・データ位置テーブル検索部107とを含む構成を有するものである。

【0008】データ記録制御部103は、入力バッファメモリ102の占有量を監視し、入力バッファメモリ102に対するライトアクセス制御と、データ記録部10

1に対するライトアクセス位置制御とを行う。それによって、データ記録部101に圧縮符号化されたオーディオデータやビデオデータ等のデータが記録される。この場合の入力データは、MPEG2等により圧縮符号化され、図13の(B)或いは図14の(A), (B)に示すパケット化されたデータである。

【0009】又再生時は、時間情報を入力することにより、時刻・データ位置テーブル検索部107は、時刻・データ位置テーブルメモリ106を検索して、データ記録部101のリードアクセス位置を求め、データ記録部101からデータを読み出して出力バッファメモリ104を介して復号、再生表示部(図示せず)に転送する。この場合、データ記録制御部103は、出力バッファメモリ104の占有量を監視し、オーバーフローしないように時刻・データ位置テーブル検索部107に対してリードアクセス制御を行う。

【0010】又時刻・データ位置テーブルメモリ106は、データ記録部101を検索し、時刻・データ位置情報分離部105により分離された時刻・データ位置情報を格納しておくものである。この場合、時刻・データ位置テーブルメモリ106を構成しておくことにより、任意の位置から再生を開始することができる。即ち、データを記録後、時刻・データ位置テーブルメモリ106を構成しておくことにより、所望の時間情報を入力することによって、データ記録部101から時間情報対応の記録位置のデータから再生を開始することができる。

【0011】又図16はデータ記録部111と、入力バッファメモリ112と、データ記録制御部113と、出力バッファメモリ114と、時刻・データ位置算出部115とを含む構成を有する記録再生装置を示し、入力されたオーディオデータやビデオデータ等のデータをデータ記録部111に記録する動作は、図15について説明した場合と同様であり、重複する説明は省略する。

【0012】データ記録部111からデータを再生する為に時間情報を入力すると、時刻・データ位置算出部115は、予め定めた算出方法に従って、データ記憶部111のリードアクセス位置を求め、読出したデータを出力バッファメモリ114を介して、図示を省略した復号、再生表示部に転送する。この場合、データの先頭位置から各データの記録位置と時刻との対応関係が定められていることにより、時間情報に従った記録位置から再生を開始することができる。

【0013】又図17は、データ記録部121と、入力バッファメモリ122と、データ記録制御部123と、出力バッファメモリ124と、時刻データ分離部125と、時刻情報比較部126とを含む構成を有する記録再生装置を示し、入力されたデータをデータ記録部121に記録する動作は、図15及び図16について説明した場合と同様であり、重複する説明は省略する。

【0014】データ記録部121からリードした再生デ

ータから時刻位置情報を時刻情報分離部125により分離して時刻情報比較部126に入力し、外部から入力された再生時刻情報と比較し、対応する時刻情報を持つデータが検出された時点から出力バッファ124へ再生データを出力する制御を行い、図示を省略した復号、再生表示部にデータを転送する。

【0015】又ビデオテープレコーダと磁気ディスク装置等のランダムアクセス可能のメモリ部とに同一の映像信号を記録し、その記録中に、記録済の映像信号を再生表示する場合、磁気ディスク装置等のランダムアクセス可能のメモリ部から映像信号を再生する記録再生装置が知られている(例えば、特開平4-88772号公報参照)。

【0016】

【発明が解決しようとする課題】ランダムアクセス可能の記録媒体を用いた記録再生装置に於いて、MPEG2等による圧縮符号化を行ったオーディオデータ、ビデオデータ等のマルチメディアデータを記録する場合、単位時間当たりのデータ量が時間の経過に従って一定ではないから、時間とデータ位置(記憶位置)とを対応させたテーブルを持つことが望ましい。

【0017】従来例の図15に示す記録再生装置は、データ記録装置101にデータを記録した後に、PESヘッダの時刻情報等を基に、時刻・データ位置テーブルを作成する場合を示し、データの記録中に任意の位置から再生を開始することができないものである。

【0018】又図16に示す記録再生装置は、単位時間当たりのデータ量を一定と仮定し、入力時間情報に従って、先頭位置からデータ位置(記録位置)を求めるものであり、MPEG2等の圧縮符号化したデータは、単位時間当たりのデータ量が変化する場合もあり、その場合、ストリームデータとして記録するには、時刻・データ位置を算出することができないものとなる。その為、時刻・データ位置を算出可能とするように、単位時間当たりの記録エリアを同一とすることが考えられるが、記録効率が低下する問題がある。

【0019】又図17に示す記録再生装置は、再生開始の指示に従ってデータ記録部121に記録されている時刻・データ位置情報を検索するものであり、記録中の再生も可能となるが、再生開始位置によっては、時刻・データ位置情報を検索して再生開始が行われるまでに要する時間が長くなる問題がある。

【0020】又ビデオテープレコーダと磁気ディスク装置等を用いて、同時に映像信号を記録する従来例は、2台の記録再生装置を設ける必要があり、従って、コスト的にもスペース的にも問題がある。

【0021】本発明は、データ記録部に入力データを記録する段階で時刻・データ位置情報等を平行して記録し、データの記録中に於いても任意の記録位置から再生を可能とすることを目的とする。

【0022】

【課題を解決するための手段】本発明の記録再生装置は、(1)入力されたマルチメディアデータを記録するデータ記録部1等の第1の記録手段と、マルチメディアデータの時刻情報と第1の記録手段の記録位置との関係を示す時刻・データ位置情報を抽出する時刻・データ位置情報抽出部3等の抽出手段と、この抽出手段により抽出した時刻・データ位置情報を記録する時刻・データ位置情報記録部2等の第2の記録手段と、指定された再生開始時刻情報を基に第2の記録手段に記録された時刻・データ位置情報を検索して前記第1の記録手段に於ける記録位置を求める時刻・データ位置情報検索部4等の検索手段と、この検索手段により得られたデータの記録位置を基に第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えている。

【0023】又(2)入力された複数のプログラムのマルチメディアデータを多重化したデータを記録する第1の記録手段と、複数のプログラム対応に前記データの時刻情報と前記第1の記録手段の記録位置との関係を示す時刻・データ位置情報を抽出する抽出手段と、この抽出手段により抽出した時刻・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、指定されたプログラムと再生時刻情報とを基に、第2の記録手段に記録された時刻・データ位置情報を検索して第1の記録手段に於ける記録位置を求める検索手段と、この抽出手段により得られたデータの記録位置を基に前記第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えている。

【0024】又(3)入力されたマルチメディアデータを記録する第1の記録手段と、マルチメディアデータの属性情報と第1の記録手段の記録位置との関係を示す属性・データ位置情報を抽出する抽出手段と、この抽出手段により抽出した属性・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、指定された再生時刻情報等の属性を基に第2の記録手段を検索して、第1の記録手段に於ける記録位置を求める検索手段と、この検索手段により得られたデータの記録位置を基に第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えている。

【0025】又(4)入力されたマルチメディアデータを記録する第1の記録手段と、マルチメディアデータの属性情報と第1の記録手段の記録位置との関係を示す属性・データ位置情報を抽出する抽出手段と、この抽出手段により抽出した属性・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、指定された属性を基に第2の記録手段を検索して、第1の記録手段に於ける記録位置を求めて出力する検索出力手段と、この検索出力手段からの記録位置を基にデータの記録位置を指定して第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えている。

【0026】又(5)入力されたマルチメディアデータを記録する第1の記録手段と、マルチメディアデータの時刻情報を基に時刻情報不連続点と第1の記録手段の記

録位置との関係を示す時刻情報不連続点・データ位置情報を抽出する抽出手段と、この抽出手段により抽出した時刻情報不連続点・データ位置情報を記録する第2の記録手段と、指定された時刻情報不連続点を基に第2の記録手段を検索して、第1の記録手段に於ける記録位置を求める検索手段と、この検索手段により得られたデータの記録位置を基に第1の記録手段からデータを再生する再生手段とを備えている。

【0027】又(6)前述の記録再生装置は、抽出手段と第2の記録手段との間に設けたバッファメモリと、このバッファメモリの占有量を監視し、この占有量が所定値を超えた時に、第2の記録手段に対するライトアクセス制御を優先させる制御を行うデータ位置情報記録制御部とを備えることができる。

【0028】

【発明の実施の形態】図1は本発明の第1の実施の形態の要部説明図であり、1はデータ記録部、2は時刻・データ位置情報記録部、3は時刻・データ位置情報抽出部、4は時刻・データ位置情報検索部を示す。入力されたオーディオデータやビデオデータ等のマルチメディアデータをデータ記録部1に記録し、その記録中に、時刻・データ位置情報記録部2に時刻・データ位置情報テーブルを形成することにより、再生要求があった場合に、要求された位置からデータの再生開始が可能となる。

【0029】又データ記録部1が第1の記録手段、時刻・データ位置情報記録部2が第2の記録手段にそれぞれ相当し、又時刻・データ位置情報抽出部3が抽出手段に、時刻・データ位置情報検索部4が検索手段にそれぞれ相当する。なお、再生手段は、データ記録部1の記録媒体に対応した構成とするものであり、例えば、記録媒体が磁気ディスクの場合、磁気ヘッドとその位置決め機構及び磁気ヘッドによる再生信号の復調処理等の構成を含むものである。

【0030】又抽出手段としての時刻・データ位置情報抽出部3は、入力されたマルチメディアデータから時刻情報を抽出すると共に、データ記録部1に対する記録位置を求めて、時刻・データ位置情報を形成し、時刻・データ位置情報記録部2に記録する。即ち、データをデータ記録部1に記録する過程に於いて、前述のように、時刻・データ位置情報記録部2に、時刻・データ位置情報テーブルを形成するものである。

【0031】又検索手段としての時刻・データ位置情報検索部4は、再生要求時に入力される時間情報を基に時刻・データ位置情報記録部2を検索し、その時間情報に対応する時刻と、その時刻に於けるデータ記録位置とを求めて、これをリードアクセス位置情報に変換して、データ記録部1からデータの再生を開始する。従って、データ記録中であっても、そのデータの記録時刻に相当するデータ記録位置から再生を開始することができる。

【0032】入力データが、例えば、MPEG2のトラ

ンスポートストリーム(TS)の場合、図14の(B)に示すように、プログラムアソシエーションテーブル(PAT)とプログラムマップテーブル(PMT)とのプログラム構成情報を格納したパッケージが、周期的に挿入されるものである。又TSヘッダに再生時刻情報(PTS; Presentation Time Stamp)やデコード時刻情報(DTS; Decoding Time Stamp)等が付加されている。

【0033】従って、トランスポートストリーム(TS)データが入力されて、データ記録部1に記録する場合、時刻・データ位置情報抽出部3に於いてPAT/PMTを検出し、プログラム対応のTSヘッダを識別してPTSを抽出し、時刻・データ位置情報記録部2に記録し、データの記録過程中に、時刻・データ位置情報テーブルを形成することができる。

【0034】又MPEG2のプログラムストリーム(PS)データは、図13の(B)又は図14の(A)に示すフォーマットであり、再生する場合には、デコーダにパックヘッダの位置から入力する必要がある。そこで、時刻・データ位置情報抽出部4は、パックヘッダの位置と対応するPTSを抽出する。又MPEG2のPSは、蓄積用のフォーマットであるから、再生開始可能なPE Sパッケージの位置情報を格納したディレクトリPE Sパッケージを、図14の(A)に示すように、任意の位置に挿入することが可能であり、従って、時刻・データ位置情報抽出部4は、このディレクトリPE Sパッケージの内容を時刻・データ位置情報として抽出し、時刻・データ位置情報記録部2に記録して、時刻・データ位置情報テーブルを形成することができる。

【0035】それにより、データ記録部1に対するデータの記録中に、時間情報を入力して再生開始を要求すると、時刻・データ位置情報検索部4は、時刻・データ位置情報記録部2を検索して、入力された時間情報に対応する時刻・データ位置情報に従ってデータ記録部1をアクセスし、所望の再生開始位置からデータの再生を開始することができる。

【0036】又データ記録部1と時刻・データ位置情報記録部2とは別体として図示しているが、同一の磁気ディスク装置等によって構成することも可能である。例えば、複数枚の磁気ディスクからなる磁気ディスク装置に於いて、或る記録領域に時刻・データ位置情報記録部2を構成し、残りの記録領域によりデータ記録部1を構成することもできる。又時刻・データ位置情報記録部2は、データ記録部1に比較して記録容量が少なく済むから、書込み可能なメモリによって構成することも可能である。

【0037】図2は入出力バッファメモリを設けた本発明の第1の実施の形態の説明図であり、図1と同一符号は同一部分を示し、5は入力バッファメモリ、6は出力バッファメモリ、7はデータ記録制御部を示す。時刻・

データ位置情報抽出部3は、入力データから前述のように時刻・データ位置情報を抽出して、ライトアクセス位置情報と時刻・データ位置情報とを、時刻・データ位置情報記録部2に入力する。

【0038】又データ記録制御部7は、入力バッファメモリ5の占有量を監視してデータ記録部1に対するライトアクセス制御を行い、又出力バッファメモリ6の占有量を監視してデータ記録部1に対するリードアクセス制御を行うものであり、例えば、入力バッファメモリ5の占有量が所定値を超えた時には、データ記録部1に対するライトアクセス制御を優先させ、データ記録部1に対するリードアクセス制御を待ち合わせる制御を行うことができる。

【0039】又時刻・データ位置情報検索部4は、再生要求による時間情報が入力されることにより、時刻・データ位置情報記録部2を検索し、時間情報に対応するデータ記録位置を示すリードアクセス位置情報に変換して、データ記録部1をアクセスし、再生したデータを出力バッファメモリ6に入力する。その時、データ記録制御部7は、出力バッファメモリ6の占有量を監視し、オーバーフローしないように、時刻・データ位置情報検索部4にリードアクセス制御情報を加え、それに対応して、時刻・データ位置情報検索部4は、データ記録部1のリードアクセスを制御することになる。そして、出力バッファメモリ6から、図示を省略した復号、再生表示部等にデータを転送する。

【0040】図3は本発明の第2の実施の形態の要部説明図であり、11は第1の記録手段に相当するデータ記録部、12は第2の記録手段に相当する時刻・データ位置情報記録部、13は抽出手段に相当する時刻・データ位置情報抽出部、14は検索手段に相当する時刻・データ位置情報検索部、18はバッファメモリ、19は時刻・データ位置記録制御部を示す。

【0041】この実施の形態は、図1に示す実施の形態に、バッファメモリ18と時刻・データ位置記録制御部19とを付加した構成に相当し、時刻・データ位置情報抽出部13と時刻・データ位置情報記録部12との間にバッファメモリ18を設け、時刻・データ位置情報抽出部13により抽出した時刻・データ位置情報を一旦バッファメモリ18に蓄積して、時刻・データ位置情報記録部12に記録するものであり、時刻・データ位置記録制御部19により、バッファメモリ18の占有量を監視し、バッファメモリ18から時刻・データ位置情報記録部12に時刻・データ位置情報を転送して書込むものである。

【0042】その場合に、時刻・データ位置記録制御部19は、バッファメモリ18の占有量を監視し、所定値以上の占有量となると、時刻・データ位置情報検索部14から時刻・データ位置情報記録部12に対するリードアクセスを制限し、バッファメモリ18から時刻・デー

タ位置情報記録部12に対するライトアクセス制御を優先させる制御を行う。それにより、時刻・データ位置情報抽出部13により抽出した時刻・データ位置情報を、確実に時刻・データ位置情報記録部12に記録することができる。

【0043】図4は入出力バッファメモリを設けた本発明の第2の実施の形態の説明図であり、図3と同一符号は同一部分を示し、図3に示す構成に対して、入力バッファメモリ15と出力バッファメモリ16とデータ記録制御部17とを設けた構成に相当する。そして、入力バッファメモリ15と出力バッファメモリ16とは、データ記録制御部17により占有量を監視して、データ記録部11に対するデータのライトアクセス制御及びデータのリードアクセス制御が行われる。又バッファメモリ18については、図3について説明した時刻・データ位置情報のバッファリングを行うもので、重複した説明は省略する。

【0044】図5は本発明の第3の実施の形態の要部説明図であり、21は第1の記録手段に相当するデータ記録部、22は第2の記録手段に相当する時刻・データ位置情報記録部、23は抽出部に相当するPAT/PMT/時刻・データ位置情報抽出部、24は検索部に相当する時刻・データ位置情報検索部を示す。この実施の形態は、マルチプログラムのMPEG2のトランスポートストリームのデータが入力される場合を示す。

【0045】MPEG2のトランスポートストリームは、図14の(B)に示すように、プログラムアソシエーションテーブル(PAT)とプログラムマップデータ(PMT)とのプログラム構成情報を格納したパケットが、周期的に挿入されるものであり、PATは、どのパケット識別子(PID)を有するTSパケットに、各プログラムのPMTが格納されているかを指示するものであり、又PMTは、それぞれのプログラムのマルチメディアデータがそれぞれのPIDのTSパケットに格納されているかを指示するものである。

【0046】又PESヘッダに、再生時刻情報(PTS; Presentation Time Stamp)やデコード時刻情報(DTS; Decoding Time Stamp)等が付加されている。そこで、PAT/PMT/時刻・データ位置情報抽出部23は、入力されたデータがトランスポートストリーム(TS)データの場合、PAT/PMT直後の各プログラム対応のPTS等を抽出し、時刻・データ位置情報として、時刻・データ位置情報記録部23に記録する。又PAT/PMTの抽出により識別したプログラム情報を出力することができる。

【0047】再生する場合は、プログラムと時間とを指定する情報を入力し、時刻・データ位置情報検索部24は、入力されたプログラム情報と時間情報とを基に、時刻・データ位置情報記録部22を検索し、指定されたプログラムの指定時刻のデータの位置を求めて、データ記

録部21のリードアクセス位置情報として、データの再生を開始することができる。

【0048】即ち、複数のプログラムのマルチメディアデータが多重化されて送信された場合、それをデータ記録部21に記録すると共に、プログラム情報を示すPAT/PMTの情報と時刻・データ位置情報とを、時刻・データ位置情報記録部22に記録することにより、データの記録中に、所望のプログラムのマルチメディアデータを選択して、所望の位置から再生することができる。又データ記録部21に記録するデータをプログラム対応10に選択することも可能である。その場合、PAT/PMT/時刻・データ位置情報抽出部23からプログラム情報を出力することができるので、入力されたTSデータの中から指定プログラム対応のデータを選択して、データ記録部21に記録する。

【0049】図6は入出力バッファメモリを設けた本発明の第3の実施の形態の説明図であり、図5と同一符号は同一部分を示し、図5の構成に対して、入力バッファメモリ25と、出力バッファメモリ26と、データ記録制御部27とを設けた構成に相当する。又図5に於ける20 PAT/PMT/時刻・データ位置情報抽出部23をプログラム情報/時刻・データ位置情報抽出部としており、TSデータのPAT/PMTからプログラム情報を抽出するものであって、同一の構成及び動作を行うものである。又入力バッファメモリ25と、出力バッファメモリ26とは、データ記録制御部27により占有量が監視されて、前述の各実施の形態と同様に、データ記録部21に対するライトアクセス制御及びリードアクセス制御が行われる。

【0050】図7は本発明の第4の実施の形態の要部説明図であり、31は第1の記録手段に相当するデータ記録部、32は第2の記録手段に相当する属性・データ位置情報記録部、33は抽出部に相当する指定属性・データ位置情報抽出部、34は検索部に相当する属性・データ位置情報検索部を示す。30

【0051】指定属性・データ位置情報抽出部33は、前述の各実施の形態の時刻・データ位置情報抽出部3、13、23に相当し、データ記録部31に記録するデータの属性とその記録位置との関係を示す属性・データ位置情報を、外部からのオーディオデータやビデオデータ40等の抽出属性の指定に従って抽出し、属性・データ位置情報記録部32に記録する。

【0052】前述の“属性”は、時間情報が不連続か否か等のデータ中に或るフラグが立っているか否か等の一般的な属性を意味するものであり、指定属性・データ位置情報抽出部33は、指定された属性の入力データについて、データ記録部31に記録する位置との関係を示す属性・データ位置情報を抽出し、属性・データ位置情報記録部32に記録する。

【0053】又属性・データ位置情報検索部34は、前50

述の各実施の形態の時刻・データ位置情報検索部4、14、24に相当し、入力されたデータの属性指定等の再生条件に従って、属性・データ位置情報記録部32を検索し、指定属性のデータの記録位置を求めて、リードアクセス位置情報とし、データ記録部31からデータの再生を開始するものである。従って、時間情報の不連続点等の所望のデータ属性の位置から再生を開始することができる。

【0054】図8は本発明の第5の実施の形態の要部説明図であり、41は第1の記録手段に相当するデータ記録部、42は第2の記録手段に相当する属性・データ位置情報記録部、43は抽出手段に相当する指定属性・データ位置情報抽出部、44は検索手段に相当する属性・データ位置情報検索部、45はバッファメモリ、46は属性・データ位置情報記録制御部を示す。

【0055】この実施の形態は、図7に示す実施の形態に、バッファメモリ45と、属性・データ位置情報記録制御部46とを設けた構成に相当する。指定属性・データ位置情報抽出部43は、抽出属性入力により指定された属性の入力データについて、データ記録部41に記録するデータ位置を示す属性・データ位置情報を抽出して、バッファメモリ45を介して属性・データ位置情報記録部42に記録する。従って、データ記録部41に入力データを記録すると共に、属性・データ位置情報テーブルを作成することができる。

【0056】又属性・データ位置情報記録制御部46は、バッファメモリ45の占有量を監視し、属性・データ位置情報記録部42に対するライトアクセス制御を行い、又バッファメモリ45の占有量が所定値を超えると、属性・データ位置情報記録部42に対するバッファメモリ45からの属性・データ位置情報のライトアクセス制御を優先させ、属性・データ位置情報検索部44から属性・データ位置情報記録部42に対するリードアクセス制御を待ち合わせる制御を行うものである。

【0057】又再生条件を属性・データ位置情報検索部44に入力すると、属性・データ位置情報記録制御部46からのリードアクセス制御情報を基に、属性・データ位置情報記録部42を検索して、データ記録部41に対するリードアクセス位置情報を求め、それにより、データ記録部41をアクセスして、所望の属性のデータから再生を開始することができる。

【0058】図9は本発明の第6の実施の形態の要部説明図であり、51は第1の記録手段に相当するデータ記録部、52は第2の記録手段に相当する属性・データ位置情報記録部、53は抽出手段に相当する指定属性・データ位置情報抽出部、54は検索手段に相当する属性・データ位置情報出力制御部、55はバッファメモリ、56は属性・データ位置情報記録制御部を示す。

【0059】この実施の形態は、図8に示す実施の形態と同様に、抽出属性入力に従った属性の入力データにつ



いて、データ記録部51への記録位置を属性・データ位置情報として抽出し、バッファメモリ55を介して属性・データ位置情報記録部52に記録して、属性・データ位置情報テーブルを作成し、このバッファメモリ55の占有量を属性・データ位置情報記録制御部56により監視し、属性・データ位置情報出力制御部54による属性・データ位置情報記録部52に対するリードアクセス制御と、バッファメモリ55から属性・データ位置情報記録部52に対するライトアクセス制御との競合を制御する。

【0060】そして、属性・位置情報要求を属性・データ位置情報出力制御部54に入力すると、属性・データ位置情報出力制御部54は、属性・データ位置情報記録部52を検索して、指定された属性のデータ位置情報を出力する。その属性・データ位置情報を、リードアクセス位置情報としてデータ記録部51に入力することにより、所望の属性のデータの再生を開始することができる。

【0061】図10は本発明の第7の実施の形態の説明図であり、61は第1の記録手段に相当するデータ記録部、62は第2の記録手段に相当する属性・データ位置情報記録部、63は抽出手段に相当する指定属性・データ位置情報抽出部、64は検索手段に相当する属性・データ位置情報検索部、65はバッファメモリ、66は属性・データ位置情報記録制御部、67はデータ記録制御部、68は入力バッファメモリ、60は出力バッファメモリを示す。

【0062】この実施の形態は、図8に示す実施の形態に、データ記録制御部67と、入力バッファメモリ68と、出力バッファメモリ69とを設けた構成に相当するものである。従って、マルチメディアデータは、入力バッファメモリ58を介してデータ記録部61に記録される過程に、指定属性・データ位置情報抽出部63により抽出された属性・データ位置情報がバッファメモリ65を介して属性・データ位置情報記録部62に記録されて、属性・データ位置情報テーブルが作成され、データの記録中でも、再生条件入力に従って、属性・データ位置情報検索部64が属性・データ位置情報記録部62を検索し、データ記録部61に対するリードアクセス位置情報を求めることができるから、所望の属性のデータから再生を開始することができる。

【0063】図11は本発明の第8の実施の形態の説明図であり、71は第1の記録手段に相当するデータ記録部、72は第2の記録手段に相当する属性・データ位置情報記録部、73は抽出手段に相当する時刻情報不連続点・データ位置情報抽出部、74は検索手段に相当する時刻情報不連続点・データ位置情報検索部、75は入力バッファメモリ、76は出力バッファメモリ、77はデータ記録制御部、78は表示デバイスを示す。又データ記録制御部77は、入力バッファメモリ75及び出力バ

ッファメモリ76の占有量を監視し、時刻情報不連続点・データ位置情報記録部72及びデータ記録部71に対するアクセス制御を行うものである。

【0064】マルチメディアデータに前述のように時刻情報が付加されているものであるが、コマーシャル部分削除等の編集を行うことにより、時刻情報に不連続点が生じる。例えば、図12に示すように、ビデオデータ1とオーディオデータ1と、ビデオデータ2とオーディオデータ2とについて、オーディオデータ1のmフレームと、ビデオデータ2の0フレームとの間を、編集によって削除すると、その間の時刻情報に不連続点が生じる。即ち、編集と共に時刻情報も修正しない場合、編集点に於いて時刻情報の不連続点が生じる。

【0065】前述のようなマルチメディアデータが入力されると、入力バッファメモリ75を介してデータ記録部71に記録する。又時刻情報不連続点・データ位置情報抽出部73は、入力されたデータの時刻情報を抽出すると共に、その不連続点を見つけて、データ記録部71に記録する位置との対応を示す時刻情報不連続点・データ位置情報を、時刻情報不連続点・データ位置情報記録部72に記録する。この時刻情報不連続点・データ位置情報は、時刻・データ位置情報と同様に、バッファメモリを介して時刻情報不連続点・データ位置情報記録部72に記録する構成とすることも可能である。

【0066】又キーボード等の入力デバイスから編集点nを指定すると、時刻情報不連続点・データ位置情報検索部74は、時刻情報不連続点・データ位置情報記録部72を検索し、時刻情報不連続点を、編集点1、編集点2、・・・のように、表示デバイス78に表示することができる。そして、指定された編集点nのデータ記録位置をリードアクセス位置情報として、データ記録部71をアクセスして、指定された編集点nからデータを再生し、出力バッファメモリ76を介して、復号、再生表示部等へ送出することができる。従って、編集点を先頭としてマルチメディアデータの再生が容易となる。

【0067】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、データ記録部1等の第1の記録手段と、時刻・データ位置情報記録部2等の第2の記録手段と、入力されたマルチメディアデータの時刻情報等と記録位置との関係のデータ位置情報を抽出する時刻・データ位置情報抽出手段3等の抽出手段と、再生要求に従って第2の記録手段を検索することにより、要求された記録位置からデータを再生する為の検索を行う時刻・データ位置情報検索部4等の検索手段と、第1の記録手段に記録されたマルチメディアデータを再生出力する再生手段とを備えているものである。

【0068】従って、データ記録部1等の第1の記録手段にマルチメディアデータを記録している過程に於いて、時刻、属性、プログラム種別、編集点等と関連付け

た記録位置の情報からなるテーブルを第2の記録手段に形成することができるから、マルチメディアデータの記録中に於いても、直ちにその直前の記録データについての再生を開始することができる。従って、マルチメディアデータを第1の記録手段に記録中に、例えば、それをモニタしている場合、それ以前に既に記録し、且つ指定された属性に対応するデータから直ちに再生を開始して表示することも容易となる利点がある。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態の要部説明図である。

【図2】入出力バッファメモリを設けた本発明の第1の実施の形態の説明図である。

【図3】本発明の第2の実施の形態の要部説明図である。

【図4】入出力バッファメモリを設けた本発明の第2の実施の形態の説明図である。

【図5】本発明の第3の実施の形態の要部説明図である。

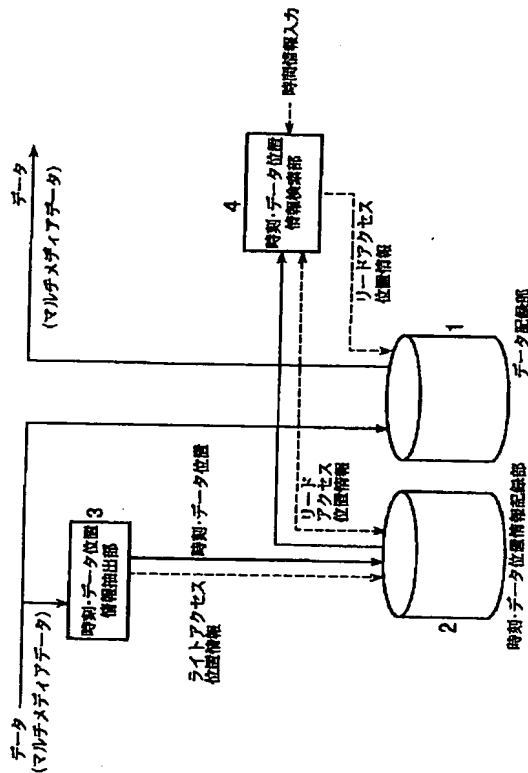
【図6】入出力バッファメモリを設けた本発明の第3の

10

20

【図1】

本発明の第1の実施の形態の要部説明図



実施の形態の説明図である。

【図7】本発明の第4の実施の形態の要部説明図である。

【図8】本発明の第5の実施の形態の要部説明図である。

【図9】本発明の第6の実施の形態の要部説明図である。

【図10】本発明の第7の実施の形態の説明図である。

【図11】本発明の第8の実施の形態の説明図である。

【図12】時刻情報不連続点の説明図である。

【図13】データの説明図である。

【図14】データの説明図である。

【図15】従来例の説明図である。

【図16】従来例の説明図である。

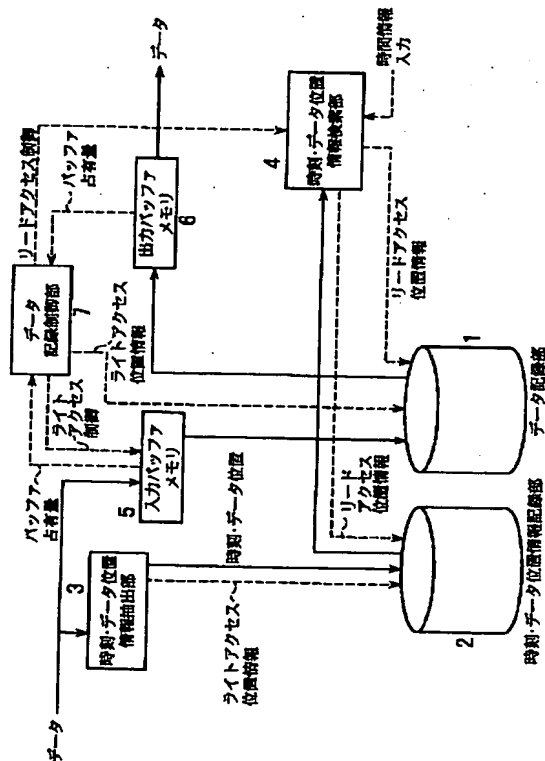
【図17】従来例の説明図である。

#### 【符号の説明】

- 1 データ記録部
- 2 時刻・データ位置情報記録部
- 3 時刻・データ位置情報抽出部
- 4 時刻・データ位置情報検索部

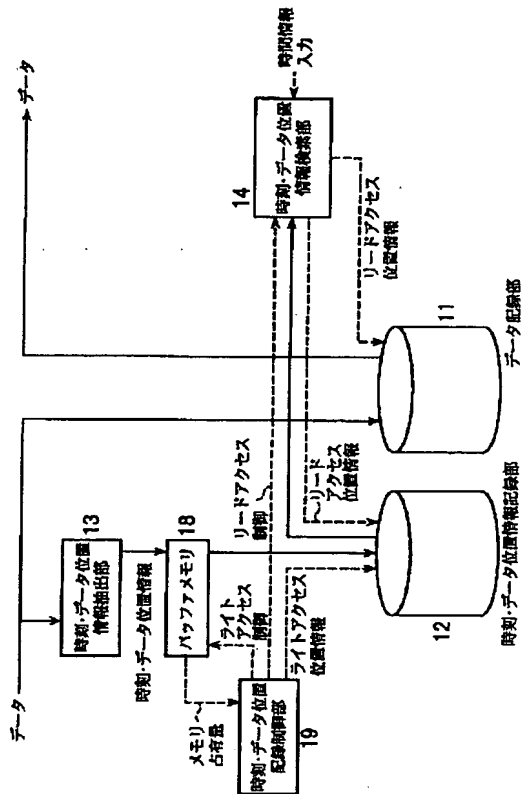
【図2】

入出力バッファメモリを設けた本発明の第1の実施の形態の説明図



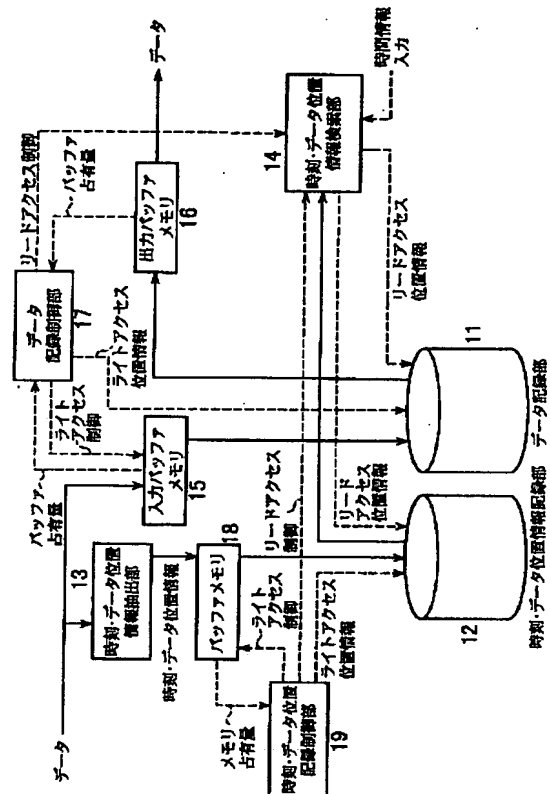
【図3】

本発明の第2の実施の形態の要部説明図



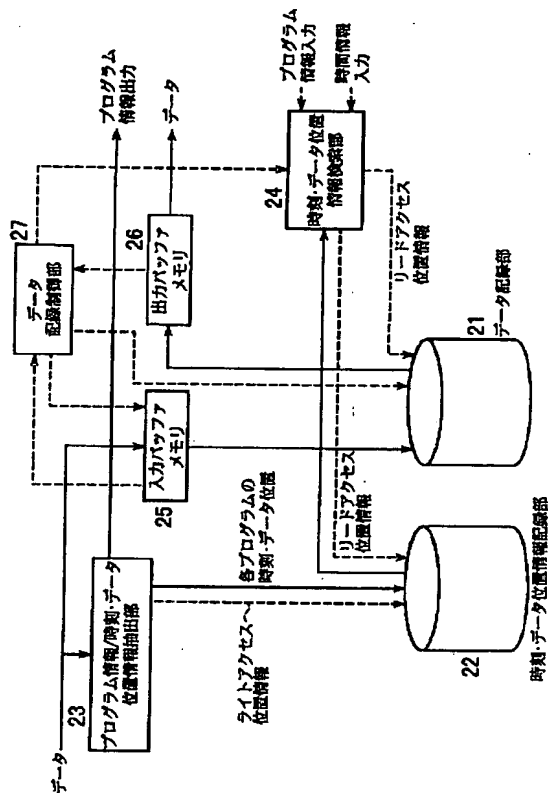
【図4】

入出力バッファメモリを設けた本発明の第2の実施の形態の説明図



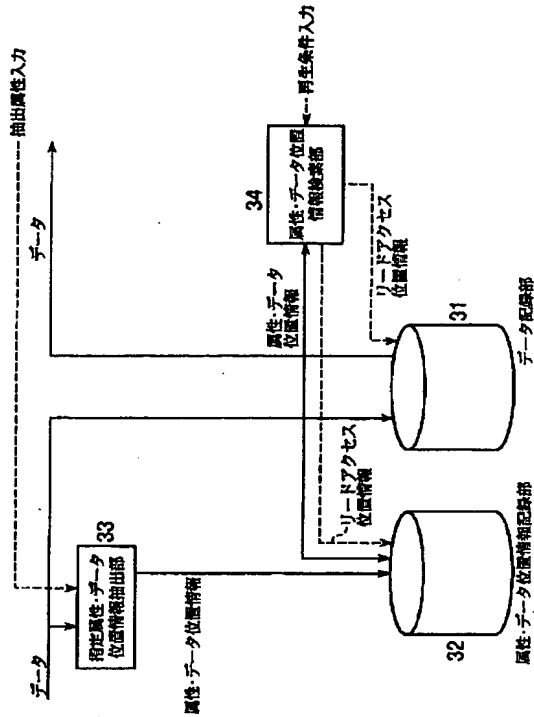
【図6】

入出力バッファメモリを設けた本発明の第3の実施の形態の説明図



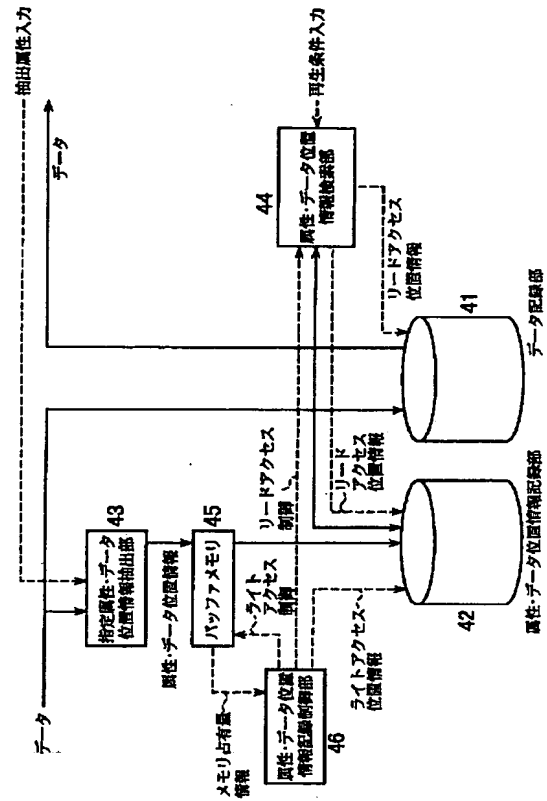
【図7】

本発明の第4の実施の形態の要部説明図



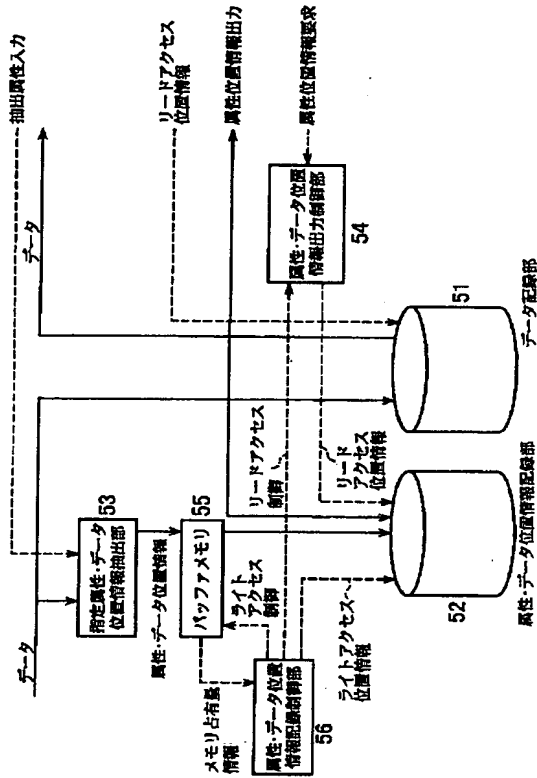
【図8】

本発明の第5の実施の形態の要部説明図



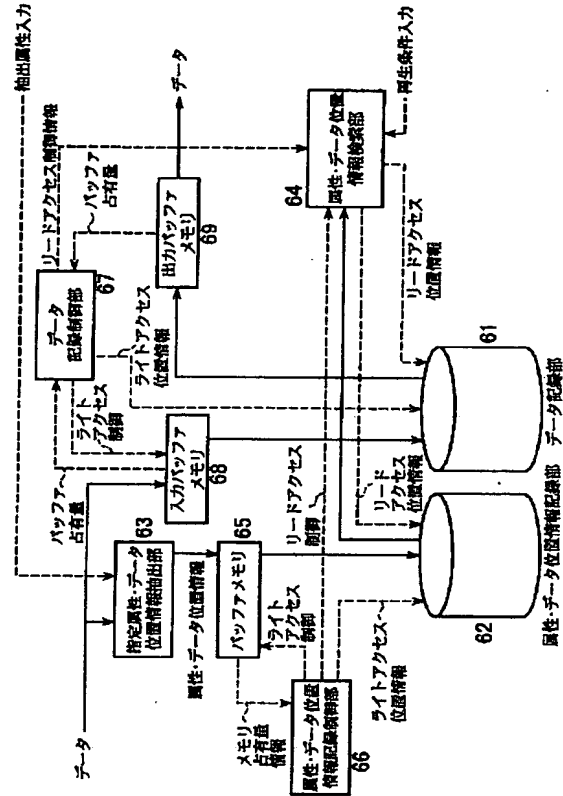
【図9】

本発明の第6の実施の形態の要部説明図



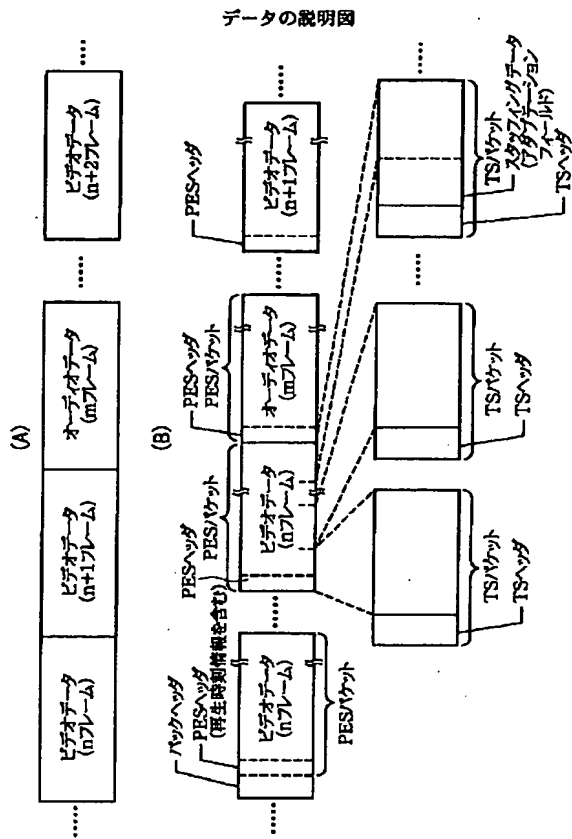
【図10】

本発明の第7の実施の形態の要部説明図

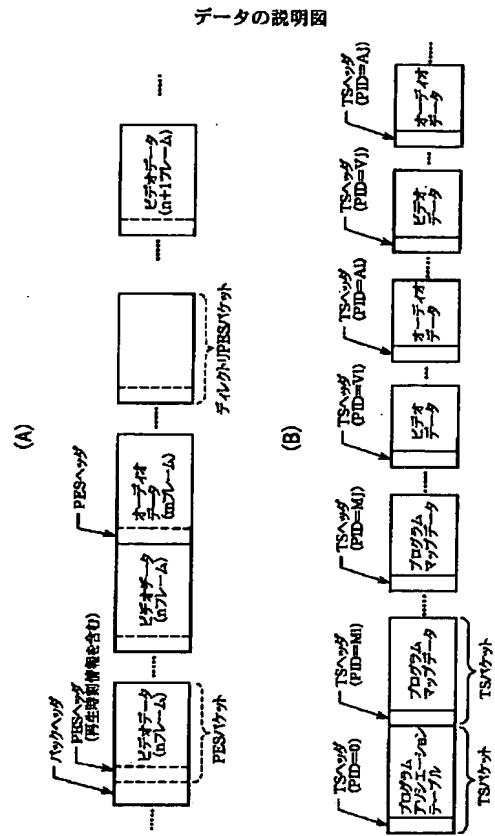




【図13】



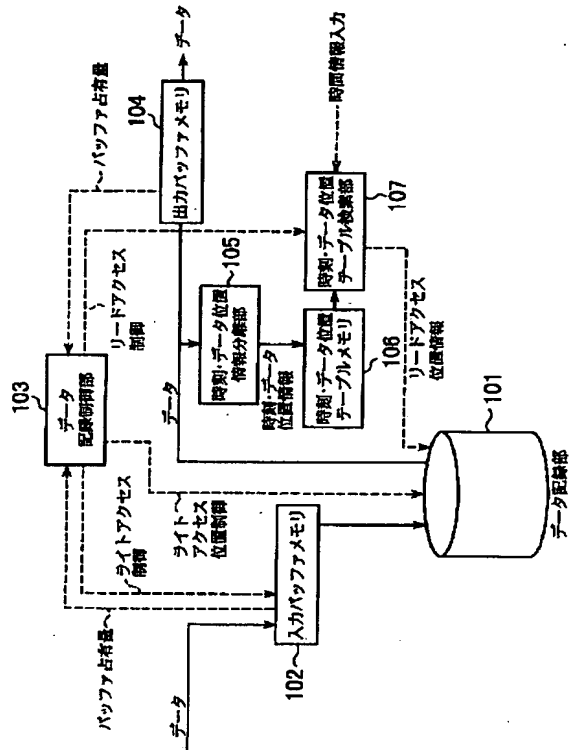
【図14】





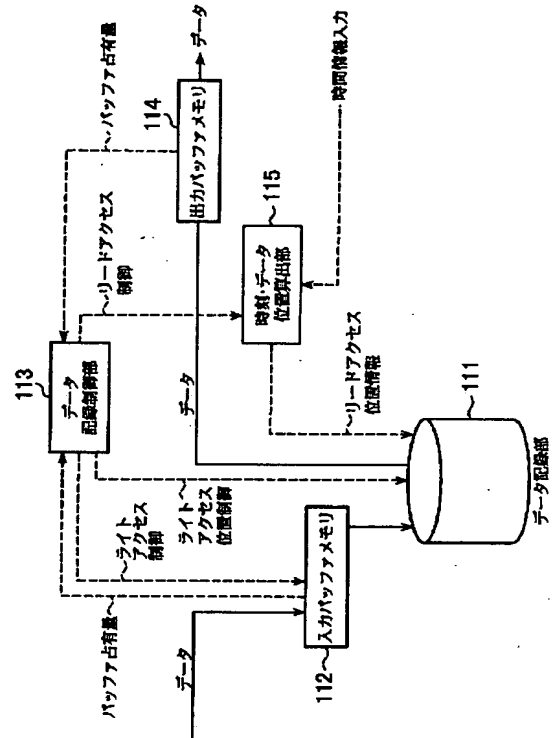
【図15】

従来例の説明図



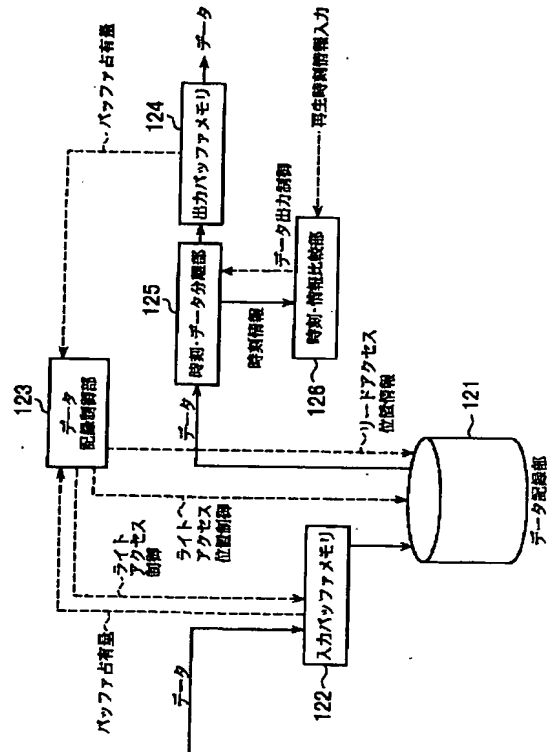
【図16】

従来例の説明図



【図17】

従来例の説明図



フロントページの続き

(51) Int. Cl.<sup>7</sup>

H04N 5/765  
5/781  
5/937  
7/24

識別記号

FI

H04N 5/781  
5/93  
7/13  
G11B 27/10  
27/00

テマコード (参考)

510L 5D110  
C  
Z  
A  
D

F ターム (参考) 5C052 AA01 AB03 AB05 AC08 CC11  
DD04 DD06  
5C053 FA20 FA23 GB06 HA29 HA33  
JA01 JA22 JA24 KA04 KA05  
5C059 MA00 PP04 RB01 SS19 UA32  
5D044 AB05 AB07 BC01 CC04 DE14  
DE17 DE22 DE39 EF05 FG18  
FG21 GK11 JJ03  
5D077 AA22 CA02 DC03 DC11 HC03  
HC21  
5D110 AA13 AA27 AA29 DA04 DA08  
DA17 DE02 DE04 DE06

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning  
Operations and is not part of the Official Record**

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: \_\_\_\_\_

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.**